

1-1 プレスクール等の実施状況について（2022年度実績）

	市町村名	所管課	スクール・クラス名	実施形態	委託先	対象年齢	定員	実施場所	内容（実施期間、実施回数、カリキュラム、主な内容等）						カリキュラム（主な内容）	課題	
									教室開設期間	一人当たりの通室期間	一人当たりの実施回数	1日あたりの時間	参加人数（2月末までの累計）	参加者の主な国籍			語彙テストの実施の有無
1	瀬戸市	学校教育課	プレススクール	直営		6歳（次年度新小学1年生の幼児）	特になし	市内各保育園、幼稚園	1月から2月	1か月～2か月	5回（通園期間内に実施する回数）	40分	9人	フィリピン、スリランカ、ペルー、ブラジル	有（DLA）	学校生活を迎えるにあたり、日常生活に必要な日本語の確認 1 自分の名前、ものの名前 2 体の名前、読み聞かせ 3 位置、方向 4 形の名前、色の名前 5 様子の言葉	今年度はプレススクール実施時期に、初期指導対象の児童が複数来日し、プレススクールの実施スケジュール的に難しかった。
2	豊川市	市民協働国際課	豊川市こぎつね教室	直営		小学校入学前6か月以内	前期8組、後期8組 計16組（親子で参加）	豊川市諏訪3丁目300番地（プリオビル5階） こぎつね教室	前期：10月～12月 後期：1月～3月の毎週木曜日（年末年始を除く）	3か月	10回	45分	8組（親子で参加）	ブラジル、ベトナム	無	・日本語の初期指導（ひらがな、カタカナ、漢字、物の名前など） ・初期算数 ・小学校での生活ルール指導など	昨年度と同様に親子プレススクールを実施。親子で学ぶことで、保護者にも高い意識付けを行うことができ、家庭での復習なども進んだことで、大きな学習効果を得た反面、保護者の仕事などの都合により、入室が困難な児童もみられたことから、入室が困難な児童や日本語が不慣れな児童のための学習動画を制作し、教室に来ることのできない親子も学ぶことができるような取組を行う。
3	豊田市	教育部 学校教育課	豊田市プレススクール事業	委託	特定非営利活動法人トルシーダ	小学校就学直前の子供	特になし	豊田市立西保見小学校、豊田産業文化センター	11月～3月	5か月または3か月	20回または10回	2時間	61人	ブラジル、中国、フィリピン、ベトナム、ペルー、インドネシア	有（愛知県プレススクール実施マニュアル）	あいさつ、ひらがなの読み書き指導、教指導、絵本の読み聞かせ、工作、運動	・不就園の子どもをもつ家庭などに、プレススクール事業について十分に周知できていない。 ・特別支援学級に入る子どもや離席する子どもがいると、人手がその子どもの支援にとられてしまっ手薄になる状況があった。また、周りの子どもが真似をして離席や奇声を発してしまうなどもあったが、該当の子どもを移動させる別室もなく、対応に苦慮した。特性がある子どもを受け入れる場合には、他の子どもが落ち着いて学習に取り組む環境を整える必要性を感じた。 ・プレススクールに参加したにもかかわらず、4月に帰国したり、他市に引っ越すなど、市の就学に結びつかない事例があった。 ・会場の確保が難しい。外国人にもわかりやすく通いやすい、子どもの体格にあった机や椅子があるなど適切な場所がない。
4	安城市	市民協働課	外国にルーツを持つ子ども達の修学準備教室事業	委託	あんじょうまざりん	5歳児（年長児）	12人	市内公民館2か所	12～4月のうちの7日	7日	7回	1時間30分	12人	ブラジル フィリピン バングラデシュ等	無	・コミュニケーショントレーニング ・数字の確認 ・運筆（鉛筆の持ち方・姿勢 等） ・読み聞かせ	・プレススクール実施会場の安定的な確保
5	西尾市	西尾市教育委員会 学校教育課	不就園児プレススクール	委託	社会福祉法人せんねん村 外国にルーツを持つ子どもに対する就学支援事業	年長5歳児	なし	多文化ルームKIBOUおよび、対象児の所属園	通年開催	就園が決まるまでの期間	週3回×48週	1回2時間半	のべ70人	有（100問語彙テスト）	生活の日本語・おやつ体験・軽い運動・ルールのある遊び	幼児の日本語指導に関心があって、謝礼や短期のアルバイトで参加をしてくれる協力者を見つけるのは毎年苦心しています。プレススクール指導員育成のための講座などが必要なことは承知していますが、他の業務やクラスでの指導があるために人的余裕がないのが現状です。	
			親子プレススクール						10月～3月	10月～3月	15回×4クラス	1回1時間	のべ480人		フィリピン、ベトナム、ブラジル、インドネシア、ペルー		親子プレススクールは月ごとにテーマを設けてひらがなや数量に親しむ活動
			在園児対象プレススクール						1月～3月	1月～3月	8回×5園	1回40分程度	95人				名前の練習、天気とひらがな、絵本を使った活動
6	犬山市	地域協働課	プレススクール	委託	多文化共生事業委託業務	年少児～年長児	なし	犬山市南部公民館、シェイクハンズ	10/2～3/19	10/2～3/19	年少児・年中児は7回、年長児は12回	1時間半	未集計	未集計	無	絵本の読み聞かせ、手遊び、50音、フラッシュカード、鉛筆の持ち方、運筆練習、歌など	・両親のプレススクールへの理解向上 ・小学校のプレススクールへの理解向上 ・保育園のプレススクールへの理解向上 ・財源と人材の確保
7	小牧市		小牧市国際交流協会プレススクール	国際交流協会		5歳児（来年小学校入学年齢）	1クラス約25人	小牧市公民館4階	令和5年1月7日～3月18日	3か月	11回	1時間	295人	ブラジル、ベトナム、フィリピン	有（KIAオリジナル語彙調査表）	①小学校での基本的マナーを身につける ②ひらがななどの基礎的学習③日本語でのコミュニケーション能力の向上④保護者に対する日本の小学校への理解を促す	
8	大府市	文化交流課		国際交流協会	大府市国際交流協会	年中児及び年長児	1園10人以内	市内公立保育園2園（終山・追分）	約3か月	約3か月	10回	約1時間	67人	ベトナム、フィリピン、ネパール	無	日本語の初期指導（物・からだ・色の名前、ひらがな、絵本の読み聞かせ など） 学校生活適応指導（学校のルール、あいさつ など）	指導者の確保、不就園児の取り込み
9	知多市	市民協働課	外国人生活支援事業	委託	ちたビジョンプロジェクト	令和5年度に小学校へ入学する予定の外国にルーツを持つ子どもたち	10人	エスペランサ（ちたビジョンプロジェクト事務所）	令和4年11月19日～令和5年3月25日 計10回開催	令和4年11月19日～令和5年3月25日	10回	1時間	5人	ボリビア、ブラジル	無	ひらがな、数字、名前の書き方、学校生活について など	市内における外国人集住地域で実施しているが、外国人市民の分散化が進み、通う事が困難なため参加できない児童がいる。
		学校教育課 つつじが丘小学校	つつじが丘小学校 プレススクール	直営		5～6歳	無	知多市立つつじが丘小学校	1月中旬～2月中旬	1ヶ月程度	3回	1時間程度	7人	ブラジル、ボリビアなど	無	・あいさつ ・トイレの使い方 ・学校で使う物の名前を覚える ・えんぴつの持ち方 ・自分の名前を書く練習 ・数を数える練習 ・ひらがなを読む練習 ・色の学習（ぬりえ） ・（保護者）書類作成	・実施主体がつつじが丘小学校であるため、つつじが丘小学校へ入学予定の児童のみが対象になること。実施主体を市にすることも検討している。 ・市主体にする場合の場所、人員について課題になると考えられる。

1-1 プレスクール等の実施状況について(2022年度実績)

市町村名	所管課	スクール・クラス名	実施形態	委託先	対象年齢	定員	実施場所	内容(実施期間、実施回数、カリキュラム、主な内容等)						カリキュラム(主な内容)	課題		
								教室開設期間	一人当たりの通室期間	一人当たりの実施回数	1日あたりの時間	参加人数(2月末までの累計)	参加者の主な国籍			語彙テストの実施の有無	
10	高浜市	高浜市教育委員会	こどもにほんごプレスクールくすのき	直営	6歳(年長)	10人程度	市内2校の小学校の教室	1月中旬から2月末日まで	一人10回	1時間40分	3時間程度	12人	ブラジル ベトナム	無	あいさつ、自分の名前前の読み書き、トイレの使い方、運筆練習、はさみ・のりの使い方、平仮名の読み、学校で使うもの・身近なもの名前など。	・対象の園児たちは、集団生活を園で経験しているため、プレスクールで学校生活の勉強を行うことには抵抗感はない。 ・保護者が学校生活について理解していないことが多い。入学説明会等で説明はしている。	
11	岩倉市	学校教育課	プレスクール	国際交流協会	6歳(就学の前年度)	希望者全員	岩倉市立岩倉東小学校	4日間(15:30~16:30)	4日間	4回(4回全て参加しなくても良い)	15:30~16:30の1時間	21人	ブラジル、フィリピン	無	ひらがなやもの名前など、基礎的な日本語やルールを学ぶ。	特になし。	
12	豊明市	学校教育課	定住外国人日本語教育推進プレクラス・プレスクール事業	委託	NPO法人プラス・エデュケーター	小学校入学前の園児や未就園児	各園5人程度(8園計30人参加)	市内保育園等	3か月(1月~3月)	3か月(1月~3月)	12回程度	1時間	232人	ブラジル、ベトナム	無	学校生活における語彙、身体に関する語彙、数字(1~10)、時計の読み、ひらがなの読み、指示表現の理解など	・保育園行事と時期が重なり、実施回数の調整が難しいこと ・日本語指導を必要とする園児が大勢いる園があり、全員を指導対象にすることが難しかったこと ・未就園クラスの会場までの送迎を保護者に依頼したところ
13	弥富市	児童課		直営	年長児	特に決めていない	在園している保育所	通年	通年	月2回	1時間	11人	パキスタン、フィリピン	有(すうじたんけんたい、ひらがなたんけんたい)	外国にルーツをもつ年長児を対象にひらがな・数字・習慣等を指導し小学校に接続する。		
14	蟹江町	子ども課	蟹江町プレスクール事業	委託	(一社)かこえ子ども日本語の会	蟹江町在住の4歳及び5歳児	20人程度	各保育所、幼稚園、認定こども園	10カ月間	10カ月間	14回	1時間	18人	ベトナム・フィリピン・中国・インドネシア・ブラジル他	無	・6月 当町・各保育所・委託事業先との打ち合わせ ・6月~2月 各保育施設でのプレスクール ・11月 各小学校就学児健康診断に立ち会い ・3月 小学校入学前説明会開催	・子どもたちのルーツの多様化による文化、宗教などの背景の多様化 ・言語の問題だけではなく困り感をもつ子どもの支援 ・支援者の確保

1-2 類似の子ども向け日本語教室の実施状況について(2022年度実績)

市町村名	所管課	スクール・クラス名	実施形態	委託先	対象年齢	定員	実施場所	内容(実施期間、実施回数、カリキュラム、主な内容等)						カリキュラム(主な内容)	課題		
								教室開設期間	一人当たりの通室期間	一人当たりの実施回数	1日あたりの時間	参加人数(2月末までの累計)	参加者の主な国籍			語彙テストの実施の有無	
1	豊橋市	多文化共生・国際課	子ども向け日本語教育事業	委託	特定非営利活動法人フロンティアとよはし	次年度に市内の小中学校に入学予定の外国人幼児等	80人程度	岩田住宅第1・2集会所、石巻地区市民館、豊橋市青少年センター	令和4年10月15日~令和5年3月11日	令和4年10月~令和5年3月	12回程度	1時間	313人	ブラジル、フィリピン	無	豊橋市立小学校に入学予定の外国人幼児等が、小学校に早期対応できるように入学前の一定期間、日本語指導や生活指導を行う。	
2	岡崎市	社会文化部多様性社会推進課	子ども向け日本語教室「びかびか」	国際交流協会	4歳から6歳	15人	岡崎市図書館交流プラザ	1月14日~2月18日(毎週土曜日)	6日	6回	2時間	65人	ブラジル、フィリピン、中国	有	読み聞かせ、あいさつ、鉛筆の持ち方、数字、ひらがなの練習等		
3	知立市	知立市教育委員会学校教育課	早期適応教室	直営		市内小中学校に入学予定の、就園していない外国にルーツのある幼児	特に定めていない	杜若教室(知立市立知立東小学校内)	約1ヶ月間(2月中旬~3月中旬)	約1ヶ月間(2月中旬~3月中旬)	約20回	65分	10人	ブラジル	有(愛知県プレスクール実施マニュアル)	初期の日本語指導 ひらがな清音の読み前名の読み書き 1から10までの数字 運筆 用具の使い方 日本の学校の生活指導	・プレスクールの指導をプレクラスの指導員が兼任しているため、プレクラス・プレスクールの人数が多くなると、どちらも指導員不足の状態になってしまう。 ・現在は就園していない子どもを対象としているが、就園している子どもの中にもプレスクールが必要な子どもがいる。 ・日本の学校生活を体験することにより、入学への不安を軽減することはできているが、日本語指導の成果を出すには通室期間(約1ヶ月間)が短すぎる。
4	みよし市	学校教育課	みよしっこひろば	委託	NPO法人 トルシーダ	保育園・幼稚園年中から年長、小学生1から2年生	20人	教育センター学びの森・おおよし交流センター 三好丘小学校	6月から3月	上記と同様	年間15回の開催	2時間	88人	ブラジル・フィリピン・中国	無	・委託先のトルシーダの指導による。 ・ひらがなやかなかな、数字、読み聞かせ等	このプレスクールの周知に課題がある。 ・保育園・幼稚園から呼びかけてもらっているが、多くの園児は参加できていない。
5	大口町			NPO等	5歳児対象	なし	白山ふれあいの森 管理棟2階	9月~3月	7か月	週に1回	2時間			無			
6	幸田町	企画政策課	幸田町日本語教育推進事業	委託	NPO法人トルシーダ	4歳から8歳程度	15人	多文化共生拠点施設	8月6日から8月28日の間に4回(小学校低学年向け) 9月10日から12月3日の期間に月1回、計4回(未就学児向け)	①-1のとおり	4回	1時間30分	6人	ブラジル、フィリピン、ネパール、中国	無	ひらがな、数字、日常で使う単語、読み聞かせ	開催場所の多文化共生拠点施設の存在が浸透していない。また、参加者の募集方法をより直接的なアプローチに変えていく必要がある。